

石川良一

市長の経験を
都政に活かす!

東京都議会報告No.14



連絡先/〒206-0822 稲城市坂浜562 TEL&FAX/042-331-3164 ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

HP: <http://ryo1-inagi.com/> FB: www.facebook.com/ishikawa.ryo1.TI Mail: ishikawa.ryo1@gmail.com都議会始まって以来の改革実現!
年間6億6千万円の削減

- 議員報酬 20%削減
- 政務活動費 10万円減額
- 費用弁償 1万2千円廃止

石川良一都議スタート時の訴え実行

私は4年前都議会議員のスタートの時から、議員報酬の30%削減を訴えてきました。その案件が今年2月22日の都議会第一回定例会にて議員報酬の削減・政務活動費の削減・費用弁償の廃止を、各会派の共同提案という形で、可決成立させました。議員報酬については、都議会公明党が20%、東京改革議員団が30%、共産党都議団が25%の削減案を発表していました。小池知事の就任時の公約として知事給与を半減させたことが大きく影響し、都議会改革の一環として都議会始まって以来の削減が実現しました。

小池知事の期末手当を含めた年間の報酬は約1402万円、今回の可決成立により都議会議員の期末手当も含めた年間の報酬は、約1715万円から1372万円となり、小池知事の報酬を下回ります。この議員報酬20%削減だけでも、年間4億4千万円の支出減となります。政務活動費は議員一人につき月額60万円が支給されていますが、50万円に減額し、議会開催時の各議員に交通費として支給される1日1万円～1万2千円の費用弁償制度は島部に住む議員を除き、廃止されることになり、すべて合わせると6億6千万の削減となりました。

身を切る改革一步一步前進

今回の議員報酬の削減は目標の30%削減から20%となり、100%満足できるものではありませんが、一步一步前進と言えます。都議会の大改革は、次に議員の身を切る改革として、議員定数127の削減に取り組みます。



前代未聞 元知事の証人喚問

石原元知事・濱渦元副知事 100 条委員会で証言

豊洲 再度基準値超えの汚染・100 倍のベンゼン検出

証人喚問が行われている 3 月 19 日、地下水の再調査によって 19 カ所で 9 回目に続き再度基準値の 1.8 倍～100 倍のベンゼン、5 カ所で 1.4～3.6 倍のヒ素、18 カ所でシアンが検出されました。地下水を一定に保つ地下水管理システムの稼働によって、地下深くの有害物質が地下水に溶け出した可能性が指摘されています。

地下水の基準は石原元知事が設定



百条委員会で答弁する石原氏

豊洲は東京ガスの跡地であり、有害物質が埋められていることは分かっていますが、その有害物質を地下水も含め科学的に対応処理できるとの判断で、従来の築地市場から豊洲新市場への移転が決定されました。しかし、まだ地中に埋められた有害物質への対応が、全く不完全であることが判明しましたが、地下水の基準は石原元知事自身が設定したものです。法的な要件はクリアしているとの指摘がありますが、それならば今まで行われてきた土壌汚染対策そのものが不必要だったこととなります。



看板に覆いをかけた豊洲市場

入口が封鎖されている豊洲市場

石原元知事責任逃れに終始、濱渦元副知事偽証の疑い！

3 月 19 日実際に東京ガスとの土地売買の交渉を担当していた、濱渦元副知事が、20 日には豊洲市場移転を決定した、当時の石原慎太郎元都知事の証人喚問が行われました。濱渦元副知事は、東ガスの責任で汚染土壌をきれいにすると認識していたと証言し、土壌汚染対策費 860 億円のうち東ガスの負担を 78 億円とする根拠となる確認書の存在は知らないとしました。またこの問題で元市場長は「知事にブリーフィングした際、東ガスが一部負担する考え方やその額が約 78 億円になることを明言した」と証言しても、石原元知事は「交渉の報告を受けたことはない」「記憶にない」と返すばかりで、責任逃れに終始しました。一方 4 月 4 日前川元知事本局長の証人喚問では「濱渦副知事は、当時の最高責任者で確認書について部下が濱渦氏に報告していた」と証言し、資料も残されており濱渦氏の偽証の疑いが濃厚になりました。100 条委員会は、まだ続きます。



百条委員会で答弁する濱渦氏

小池百合子知事と共に東京大改革を推進

小池知事に直接提言 実現

- 1 豊洲市場移転問題で明らかになった都の隠ぺい体質汚職防止のための弁護士等第三者による「公益外部通報制度」の創設（内部告発者の利益擁護）
- 2 都議会議員主催のパーティーや会合に都職員が参加することの自粛「議員と職員の馴れ合い防止通達」の指示
- 3 都議会議員のあっせん収賄や利益誘導に繋がりがねない「役所への口利き等を記録し公開する制度」の創設
- 4 議会復活予算制度の廃止で、議員利益誘導体質からの脱却に賛同

しがらみが無いから実現できる！

私は当選後一貫して企業や団体から献金を一円たりとも受け取っていません。

4 つの改革 公正性、透明性、競争性、効率性をさらに高めます



石川良一プロフィール

環境・建設委員長を歴任、
現在文教委員会委員

略 歴

1952 年 5 月 8 日生まれ
 1965 年 稲城第二小学校卒業
 1968 年 稲城中学卒業
 1971 年 都立武蔵高校卒業
 1972 年 早稲田大学入学・卒業
 1978 年 民間企業に入社
 1983 年 稲城市会議員二期当選
 1991 年 稲城市長当選
 以降 5 期 20 年務める
 2013 年 東京都議会議員当選

今までの役職

- ・全国青年市長会会長
- ・東京都市長会会長
- ・東京都市区長会会長
- ・全国市長会社会文教委員長
- ・全国市長会
介護保険対策特別委員長

